

(社) 日本原子力学会
第70回倫理委員会議事要旨

日 時 平成25年5月8日(水) 13:30~17:00
場 所 日本原子力学会 事務局会議室
出席者 大場委員長、宮越副委員長、作田幹事、内山委員、北村委員、小林委員、
柴田委員、関村委員、辻委員、林委員、三好委員
上坂理事、山本理事 (13名: 委員名簿順)

配布資料

- 資料70-1 第70回倫理委員会議事要旨(案)
- 資料70-2 2013年秋の大会企画セッション提案書
- 資料70-3 日本原子力学会 論文投稿・校閲に関する倫理指針
- 資料70-4 なし
- 資料70-5(1) 2013年春の年会企画セッション投稿原稿(案)
- 資料70-5(2) 第5回世界工学会議関連資料
- 資料70-5(3) 「研究活動における倫理に関する調査」への協力をお願い

議事

1. 資料70-1により、前回議事要旨(案)を確認し、了承された。
2. 資料70-2により、2013年秋の大会企画セッション提案書について、宮越副委員長から説明があった。テーマは「原子力安全のための人材育成と世界の視点」で、講演者の原子力安全推進協会 久郷明秀理事に了解をいただいている。倫理との関連性を講演に含めることの講演者へのお願いと、庶務事項手続きは、宮越副委員長が行うこととした。
3. 倫理委員会のミッションについて、自由討議を行った。二重投稿問題に対する参考資料として、資料70-3の配布が大場委員長よりあった。
 - ・ 二重投稿問題に関して、本委員会のミッションからは外れるが、何ができるのか。何が正しくて、何が正しくないかの基準と、違反した場合の懲罰機能をどこが持つのか。
 - ・ 「倫理」をどう扱っていくか、どう考えていくかを若手に伝えることが重要。
 - ・ 現実問題として、どこまで労力と時間をさけるのか(覚悟、ボランティアとして)。
 - ・ 学会、会員、東電福島事故の不作為の洗い出し(横串「組織」としての責任を果たすため)。
 - ・ インセンティブの在り方と、共有。
 - ・ 「倫理」の特有性、独自性、本委員会こそが行うべき事項。
4. 倫理規程の改訂については、今後、以下のスケジュールで進めることとした。委員全員が、東京電力福島事故を踏まえて、倫理規程に対する意見をまとめて、5月31日(金)までに大場委員長にメールで返信することとした。様式は特に定めないが、倫理的に問題だと考える事項(できるだけ具体的に)と、その事項に対応する倫理規程(行動の手引)の番号を記載することとした。委員へのお願いメールについては、作田幹事が発信することと

した。委員全員から出された意見を大場委員長が取りまとめ、次回の倫理委員会で議論することとした。

5. 資料 70-5(1)により、2013 年春の年会企画セッション投稿原稿（案）について、作田幹事から説明があった。倫理委員全員が本案をチェックの上、コメントを作田幹事に連絡することとした。作田幹事は、コメント反映後、編集委員会に対して掲載依頼することとした。
6. 資料 70-5(2)により、平成 27 年 11 月 30 日～12 月 3 日にかけて開催予定の第 5 回世界工学会議（World Engineering Conference and Convention 2015）について、山本理事から紹介があった。原子力学会が取りまとめを行うことになっているセッションⅢ－2「科学技術への信頼回復とリスク・マネジメント&コミュニケーション」では、電気学会と機械学会との協同開催を要望している。航空分野や化学分野は先行しているので参考にするとよいとの意見があった。
7. 資料 70-5(3)により、東北大学 大学教育支援センターから倫理に関するアンケート調査の協力依頼があったことについて、大場委員長から説明があった。調査対象が「研究倫理」になっていることを踏まえて、議論しながら回答案を作成した。大場委員長が、全体チェック、清書の上、東北大学に回答することとした。
8. 次回倫理委員会は、6 月 12 日（水）13:30～（学会事務局）とする。今後の予定として、現時点では、7/10(水)、9/11(水)、11/13(水)、1/15(水)、3/12(水)とした。

以上